**研究業績書（様式②）の作成要領・作成例**

**作成要領**

１．学術論文、著書、翻訳、調査報告書、学会発表等（活字化されたもの）を「学術論文」・「著書」・「その他」に区分し、当該小見出しを明記するとともに、その区分ごとの業績を年月日順に記載してください。【年号は西暦で記入】

２．各業績については、「著者名」「発行年」「題名」「掲載誌名、巻、号、最初頁～最終頁、または発行箇所」の順に記載してください。

３．著者が複数の場合には全員の氏名を、第一著者から順に記載し、本人部分に下線を引いてください。

４．分担執筆による「著書」の場合には、担当部分の題目と最初頁～最終頁も記載してください。共訳による「翻訳」も同様にしてください。

５．出願書類の作成にあたって、文字のフォント、大きさは指定しません。(ただし、所定用紙の体裁は厳守してください)。

|  |
| --- |
| **作成例　(Sample)** |

**様式②**

**2026年度 大学院スポーツ科学研究科　入学試験**

**研究業績書**

|  |  |
| --- | --- |
| 以下内容は　**\*\*\*\***年　**\***　月　**\*\***　日　現在 | |
| ﾌﾘｶﾞﾅ | **ワセダ　タロウ** | 専攻分野  自身が研究をしている専攻分野名をわかりやすく記入のこと | **スポーツ文化** |
| 氏名 | **早稲田　太郎** |
| **＜学術論文＞**  1.　早稲田太郎：2012　○○○の研究．日本□□学会誌，54巻3号，15-24頁．  2.　小手指一郎，早稲田太郎，所沢太郎：2014　△△△に関する考察．□□神経，31巻2号，31-45頁．  3.　早稲田太郎，小手指一郎：2015　☆☆と★★の関連．▼▼研究の進歩，39巻2号，95-106頁．  **＜著　書＞**  1.　早稲田太郎：2013　◇◇◇◇入門．凸凹出版．  2.　所沢太郎，早稲田太郎：2014　□□□の科学．◇◆書店．  3.　早稲田太郎：2015　□□□の行動．凸多凹男（編）「生物と行動」，▲▽書房，175-198頁  （凸多凹男他12名と分担執筆）．  **＜その他＞**  《学会発表》  1.　早稲田太郎，小手指一郎，所沢太郎：2012　○○○を用いた◇◇の解析．第Ｎ回日本□□学会  大会発表論文集， 101頁．  2.　小手指一郎，所沢太郎，早稲田太郎：2013　新しい△△の分析手法．第ｎ回日本○△学会大会号，  308-309頁．  《翻訳》  1.　早稲田太郎：2014　□▽□▽□学．○○書店，98-120頁（小手指一郎他10名と分担翻訳）． | | | |

**様式②**

**2026年度 大学院スポーツ科学研究科　入学試験**

**研究業績書**

|  |  |
| --- | --- |
| 以下内容は　　　　年　　　月　　　日　現在 | |
| ﾌﾘｶﾞﾅ |  | 専攻分野  自身が研究をしている専攻分野名をわかりやすく記入のこと |  |
| 氏名 |  |
|  | | | |

※枠に収まらない場合は適宜枠を広げて記入してください。